

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2027年12月14日まで（2018年1月19日設定）	
運用方針	日経アジア300インベスタブル・アクティブ・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を除くアジア諸国・地域の企業の株式等（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）に投資を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビーフンド	日経アジア300インベスタブル・アクティブ・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	日本を除くアジア諸国地域の企業の株式等を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

日経アジア300インベスタブル・アクティブ・ファンド

愛称：アジア・リーダー

第6期（決算日：2020年12月14日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「日経アジア300インベスタブル・アクティブ・ファンド」は、去る12月14日に第6期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			日経アジア300インベスタブル指数 (円換算ベース、ネット・トータルリターン)		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税 分 配	み 金 騰 落	期 騰 落	中 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
2期(2018年12月14日)	8,285	0	△13.5	150,185.21	△ 8.5	96.7	—	313
3期(2019年6月14日)	8,456	0	2.1	149,466.26	△ 0.5	94.9	—	312
4期(2019年12月16日)	9,481	0	12.1	164,119.39	9.8	96.1	—	342
5期(2020年6月15日)	8,920	0	△ 5.9	149,429.61	△ 9.0	94.7	—	320
6期(2020年12月14日)	10,839	700	29.4	186,368.08	24.7	96.5	—	368

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 日経アジア300インベスタブル指数(円換算ベース、ネット・トータルリターン)は、日経アジア300インベスタブル指数(ドルベース、ネット・トータルリターン)をもとに、委託会社が計算したものです。日経アジア300インベスタブル指数(以下「日経アジア300 i」という。)とは、日本経済新聞社(以下「日経」という。)により算出・公表される株価指数であり、アジアの上場企業300社を構成銘柄としています。日経アジア300 iは、日経によって独自に開発された手法によって、算出される著作物であり、日経は日経アジア300 i自体及び日経アジア300 iを算出する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有しています。日経アジア300 iを対象とする本件投資信託は、投資信託委託会社等の責任のもとで運用されるものであり、その運用及び本件受益権の取引に関して、日経は一切の義務ないし責任を負いません。日経は日経アジア300 iを継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延または中断に関して、責任を負いません。日経は、日経アジア300 iの構成銘柄、計算方法、その他日経アジア300 iの内容を変える権利及び公表を停止する権利を有しています。日経アジア300 iは、S&P Dow Jones Indices LLCの子会社であるS&P Opco, LLCとの契約に基づいて、算出・維持されます。S&P Dow Jones Indices、その関連会社あるいは第三者のライセンサーはいずれも日経アジア300 iをスポンサーもしくはプロモートするものではなく、また日経アジア300 iの算出上の過失に対し一切の責任を負いません。「S&P®」はStandard & Poor's Financial Services LLCの登録商標です。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		日経アジア300インベスタブル指数 (円換算ベース、ネット・トータルリターン)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2020年6月15日	円 8,920	% —	149,429.61	% —	% 94.7	% —
6月末	9,123	2.3	151,416.47	1.3	94.0	—
7月末	9,770	9.5	160,145.98	7.2	94.2	—
8月末	10,426	16.9	167,049.57	11.8	94.3	—
9月末	10,109	13.3	161,836.08	8.3	96.4	—
10月末	10,559	18.4	169,133.16	13.2	97.4	—
11月末	11,248	26.1	181,871.51	21.7	95.7	—
(期 末) 2020年12月14日	11,539	29.4	186,368.08	24.7	96.5	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

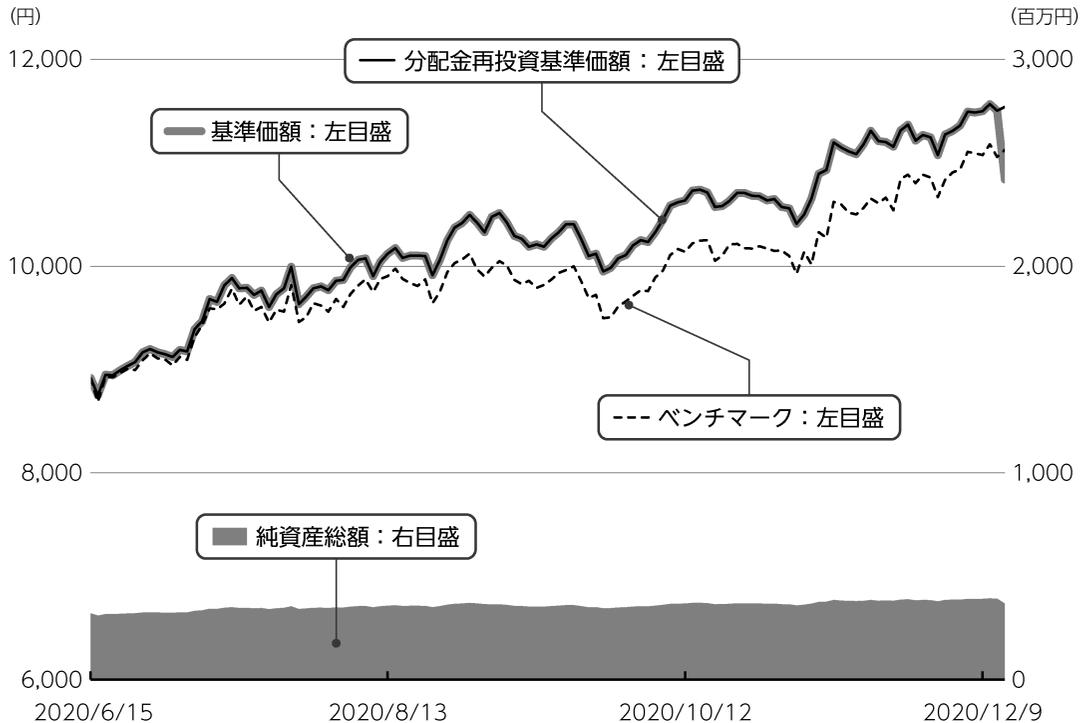
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第6期：2020年6月16日～2020年12月14日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第6期首	8,920円
第6期末	10,839円
既払分配金	700円
騰落率	29.4%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ29.4%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（24.7%）を4.7%上回りました。

▶ 基準価額の主な変動要因

上昇要因

台湾のAIRTAC INTERNATIONAL GROUPやTAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACの株価が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

第6期：2020年6月16日～2020年12月14日

投資環境について

▶ 株式市況

アジア株式市況は上昇しました。

ベンチマークである「日経アジア300インベスタブル指数（円換算ベース、ネット・トータルリターン）」における当期のアジア株式市況は上昇しました。

新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念やハイテク分野を巡る米中対立激化への警戒感の高まりなどから下落する局面があったものの、各国の経済対策への期待感や中国経済の堅調な回復、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展に加え

て、バイデン前副大統領が勝利の見込みとなり米中関係改善への期待が高まったこともあり、期を通じて上昇基調を維持しました。

▶ 為替市況

アジア諸国・地域の通貨は、円に対してまちまちとなりました。

アジア諸国・地域の通貨は、韓国ウォンやマレーシアリングgitなどが円に対して上昇する一方、インドネシアルピアや香港ドルなどが下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 日経アジア300インベスタブル・アクティブ・ファンド

日経アジア300インベスタブル・アクティブ・マザーファンド受益証券の組入比率を概ね99%以上に保ち、実質的な運用はマザーファンドで行いました。

▶ 日経アジア300インベスタブル・アクティブ・マザーファンド

日本を除くアジア諸国・地域の企業の株式等を主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざして運用を行いました。

銘柄選定にあたっては、所得向上によるモノ・サービスの普及率の上昇や、中間所得者層の拡大と消費の高度化、インフラ投資の増大などの恩恵を受ける企業のほか、世界レベルの競争力を持ったIT企業や、Eコマースやデータセンターなどの新しい産業で活躍する企業などへ着目の上、売上成長や利益成長、フリーキャッシュフローなどを考慮して、ポートフォリオを構築しました。

国別では中国などをオーバーウェイト、韓国などをアンダーウェイトとしました。ポートフォリオの保有銘柄数は、概ね50

銘柄程度で推移させ、期末は45銘柄としました。

新規組入、全売却した主な銘柄は、中国のWUXI BIOLOGICS CAYMAN INCな

どを新規に組み入れた一方で、中国のLENOVO GROUP LTDなどを全売却しました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

▶ 日経アジア300インベスタブル・アクティブ・ファンド

基準価額は、期首に比べ29.4%の上昇となり、ベンチマークの騰落率（24.7%）を4.7%上回りました。

主な差異要因

マザーファンド保有以外の要因

信託報酬等のコストがマイナス要因となりました。

マザーファンド保有による要因

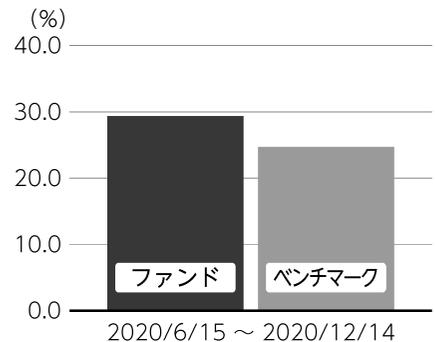
プラス要因

台湾のAIRTAC INTERNATIONAL GROUPやTAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACなどの個別銘柄選択がプラスに寄与しました。

マイナス要因

中国のPING AN HEALTHCARE AND TECHNやタイのAIRPORTS OF THAILAND PC-NVDRなどの個別銘柄選択がマイナスに影響しました。

基準価額（ベビーファンド）とベンチマークの対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第6期
	2020年6月16日～2020年12月14日
当期分配金（対基準価額比率）	700 (6.066%)
当期の収益	554
当期の収益以外	145
翌期繰越分配対象額	956

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ 日経アジア300インベスタブル・アクティブ・ファンド

日経アジア300インベスタブル・アクティブ・マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保つ方針です。

▶ 日経アジア300インベスタブル・アクティブ・マザーファンド

日本を除くアジア諸国・地域の企業の株式等を主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざし、ベンチマークである「日経アジア300インベスタブル指数（円換算ベース、ネット・トータルリターン）」を中長期的に上回る投資成果の獲得をめざして運用を行います。

アジア諸国・地域を取り巻く外部環境を見ると、日米欧などにおいては新型コロナウイルスの感染拡大による影響が懸念

されるなか、米国政府や米連邦準備制度理事会（FRB）は積極的に景気下支え策を講じる一方、中国政府も経済への下押し圧力を和らげるため積極的に景気対策を打ち出しており、不透明感が残るものの景気は緩やかな回復が継続すると見込んでいます。また、オンライン診療やデータセンターなどの需要が堅調な伸びを示しており、イノベーション分野での成長機会の増加が期待されています。これらを背景に、企業業績は成長トレンドを維持すると考えており、世界各地での新型コロナウイルス感染拡大による需要の落ち込みなどが波乱要因として残るものの、アジア株式市況は中長期的に堅調に推移するものと考えています。

株式組入比率については、高位な水準を維持する方針です。

2020年6月16日～2020年12月14日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	82	0.795	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(39)	(0.384)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(39)	(0.384)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	7	0.065	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(7)	(0.065)	
(c) 有価証券取引税	3	0.033	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(3)	(0.033)	
(d) その他費用	21	0.200	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(19)	(0.181)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(2)	(0.017)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	113	1.093	

期中の平均基準価額は、10,295円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してありません。

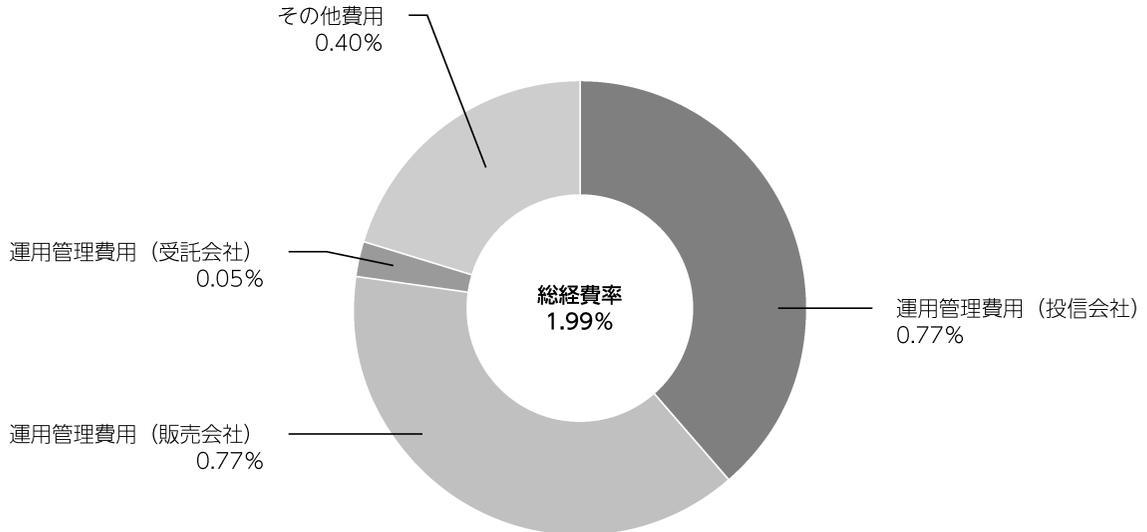
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.99%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年6月16日～2020年12月14日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
日経アジア300インベスタブル・アクティブ・マザーファンド	千口 1,932	千円 2,204	千口 43,655	千円 49,342

○株式売買比率

(2020年6月16日～2020年12月14日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	日経アジア300インベスタブル・アクティブ・マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	99,982千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	339,436千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.29	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2020年6月16日～2020年12月14日)

利害関係人との取引状況

<日経アジア300インベスタブル・アクティブ・ファンド>

該当事項はございません。

<日経アジア300インベスタブル・アクティブ・マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	73	—	—	118	31	26.3

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2020年6月16日～2020年12月14日)

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 300	百万円 —	百万円 —	百万円 300	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2020年12月14日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
日経アジア300インベスタブル・アクティブ・マザーファンド	千口 342,909	千口 301,186	千円 364,496

○投資信託財産の構成

(2020年12月14日現在)

項 目	当 期 末	比 率
	評 価 額	
日経アジア300インベスタブル・アクティブ・マザーファンド	千円 364,496	% 92.3
コール・ローン等、その他	30,446	7.7
投資信託財産総額	394,942	100.0

(注) 日経アジア300インベスタブル・アクティブ・マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(362,682千円)の投資信託財産総額(388,269千円)に対する比率は93.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=104.04円	1 香港ドル=13.42円	1 シンガポールドル=77.91円	1 タイバーツ=3.46円
1 フィリピンペソ=2.16円	100インドネシアルピア=0.74円	100韓国ウォン=9.55円	1 ニュー台湾ドル=3.69円
1 オフショア元=15.93円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年12月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	394,942,865
コール・ローン等	6,662,355
日経アジア300インベスタブル・アクティブ・マザーファンド(詳細)	364,496,422
未収入金	23,784,088
(B) 負債	26,659,518
未払収益分配金	23,785,114
未払解約金	18,510
未払信託報酬	2,849,853
未払利息	5
その他未払費用	6,036
(C) 純資産総額(A-B)	368,283,347
元本	339,787,353
次期繰越損益金	28,495,994
(D) 受益権総口数	339,787,353口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,839円

<注記事項>

- ①期首元本額 359,491,390円
 期中追加設定元本額 5,106,736円
 期中一部解約元本額 24,810,773円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0839円です。

②分配金の計算過程

項 目	2020年6月16日～ 2020年12月14日
費用控除後の配当等収益額	1,611,908円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	49,547,809円
収益調整金額	173,879円
分配準備積立金額	4,952,562円
当ファンドの分配対象収益額	56,286,158円
1万口当たり収益分配対象額	1,656円
1万口当たり分配金額	700円
収益分配金金額	23,785,114円

○損益の状況 (2020年6月16日～2020年12月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 650
受取利息	11
支払利息	△ 661
(B) 有価証券売買損益	90,998,677
売買益	94,222,173
売買損	△ 3,223,496
(C) 信託報酬等	△ 2,855,889
(D) 当期損益金(A+B+C)	88,142,138
(E) 前期繰越損益金	△32,029,859
(F) 追加信託差損益金	△ 3,831,171
(配当等相当額)	(170,297)
(売買損益相当額)	(△ 4,001,468)
(G) 計(D+E+F)	52,281,108
(H) 収益分配金	△23,785,114
次期繰越損益金(G+H)	28,495,994
追加信託差損益金	△ 3,831,171
(配当等相当額)	(173,879)
(売買損益相当額)	(△ 4,005,050)
分配準備積立金	32,327,165

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金（税込み）	700円
----------------	------

◆分配金は決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、2020年12月14日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

日経アジア300インベスタブル・アクティブ・マザーファンド

《第6期》決算日2020年12月14日

[計算期間：2020年6月16日～2020年12月14日]

「日経アジア300インベスタブル・アクティブ・マザーファンド」は、12月14日に第6期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第6期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	<p>主として日本を除くアジア諸国・地域の企業の株式等に投資を行います。 日経アジア300インベスタブル指数をベンチマークとし、中長期的に同指数を上回る投資成果の獲得をめざして運用を行います。 株式等への投資にあたっては、指数構成銘柄に次世代組入候補銘柄等を加えた銘柄群の中から、徹底した調査・分析により、利益成長およびフリーキャッシュフローに着目し、株価の上昇が期待される銘柄を選別します。なお、次世代組入候補銘柄とは将来当該指数に採用される可能性が高いと委託会社が判断する銘柄のことをいいます。 株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主要運用対象	日本を除くアジア諸国地域の企業の株式等（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		日経アジア300インベスタブル指数 (円換算ベース、ネット・トータルリターン)		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	期騰落	中率	期騰落	中率			
2期(2018年12月14日)	円	%		%	%	%	百万円
	8,389	△12.9	150,185.21	△ 8.5	97.6	—	310
3期(2019年6月14日)	8,632	2.9	149,466.26	△ 0.5	95.8	—	309
4期(2019年12月16日)	9,767	13.1	164,119.39	9.8	97.1	—	338
5期(2020年6月15日)	9,257	△ 5.2	149,429.61	△ 9.0	95.7	—	317
6期(2020年12月14日)	12,102	30.7	186,368.08	24.7	97.5	—	364

(注) 日経アジア300インベスタブル指数(円換算ベース、ネット・トータルリターン)は、日経アジア300インベスタブル指数(ドルベース、ネット・トータルリターン)をもとに、委託会社が計算したものです。日経アジア300インベスタブル指数(以下「日経アジア300i」という。)とは、日本経済新聞社(以下「日経」という。)により算出・公表される株価指数であり、アジアの上場企業300社を構成銘柄としています。日経アジア300iは、日経によって独自に開発された手法によって、算出される著作物であり、日経は日経アジア300i自体及び日経アジア300iを算出する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有しています。日経アジア300iを対象とする本件投資信託は、投資信託委託会社等の責任のもとで運用されるものであり、その運用及び本件受益権の取引に関して、日経は一切の義務ないし責任を負いません。日経は日経アジア300iを継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延または中断に関して、責任を負いません。日経は、日経アジア300iの構成銘柄、計算方法、その他日経アジア300iの内容を変える権利及び公表を停止する権利を有しています。日経アジア300iは、S&P Dow Jones Indices LLCの子会社であるS&P Opco, LLCとの契約に基づいて、算出、維持されます。S&P Dow Jones Indices、その関連会社あるいは第三者のライセンサーはいずれも日経アジア300iをスポンサーもしくはプロモートするものではなく、また日経アジア300iの算出上の過失に対し一切の責任を負いません。「S&P」はStandard & Poor's Financial Services LLCの登録商標です。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		日経アジア300インベスタブル指数 (円換算ベース、ネット・トータルリターン)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2020年6月15日	円 9,257	% —	149,429.61	% —	% 95.7	% —
6月末	9,476	2.4	151,416.47	1.3	94.9	—
7月末	10,168	9.8	160,145.98	7.2	95.1	—
8月末	10,873	17.5	167,049.57	11.8	95.2	—
9月末	10,553	14.0	161,836.08	8.3	97.3	—
10月末	11,042	19.3	169,133.16	13.2	98.4	—
11月末	11,786	27.3	181,871.51	21.7	96.6	—
(期 末) 2020年12月14日	12,102	30.7	186,368.08	24.7	97.5	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

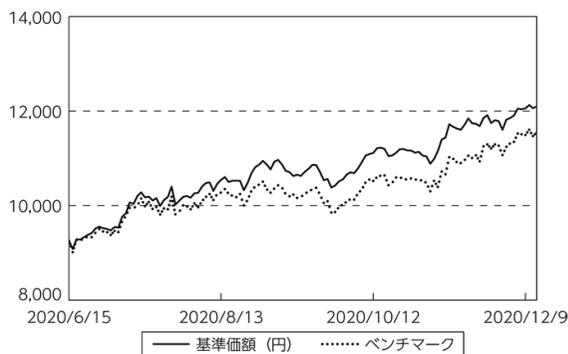
◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ30.7%の上昇となりました。

◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(24.7%)を6.0%上回りました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

● 基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

- ・台湾のAIRTAC INTERNATIONAL GROUPやTAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACの株価が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

● 投資環境について

◎ 株式市況

- ・アジア株式市況は上昇しました。
- ・ベンチマークである「日経アジア300インベスタブル指数（円換算ベース、ネット・トータルリターン）」における当期のアジア株式市況は上昇しました。
- ・新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念やハイテク分野を巡る米中対立激化への警戒感の高まりなどから下落する局面があったものの、各国の経済対策への期待感や中国経済の堅調な回復、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展に加えて、バイデン前副大統領が勝利の見込みとなり米中関係改善への期待が高まったこともあり、期を通じて上昇基調を維持しました。

◎ 為替市況

- ・アジア諸国・地域の通貨は、円に対してまちまちとなりました。
- ・アジア諸国・地域の通貨は、韓国ウォンやマレーシアリングgitなどが円に対して上昇する一方、インドネシアルピアや香港ドルなどが下落しました。

● 当該投資信託のポートフォリオについて

- ・日本を除くアジア諸国・地域の企業の株式等を主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざして運用を行いました。
- ・銘柄選定にあたっては、所得向上によるモノ・サービスの普及率の上昇や、中間所得者層の拡大と消費の高度化、インフラ投資の増大などの恩恵を受ける企業のほか、世界レベルの競争力を持ったIT企業や、Eコマースやデータセンターなどの新しい産業で活躍する企業などへ着

目の上、売上成長や利益成長、フリーキャッシュフローなどを考慮して、ポートフォリオを構築しました。

- ・国別では中国などをオーバーウェイト、韓国などをアンダーウェイトとしました。
- ・ポートフォリオの保有銘柄数は、概ね50銘柄程度で推移させ、期末は45銘柄としました。
- ・新規組入、全売却した主な銘柄は、中国のWUXI BIOLOGICS CAYMAN INCなどを新規に組み入れた一方で、中国のLENOVO GROUP LTDなどを全売却しました。

- 当該投資信託のベンチマークとの差異について
ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(24.7%)を6.0%上回りました。

◎ プラス要因

- ・台湾のAIRTAC INTERNATIONAL GROUP やTAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACなどの個別銘柄選択がプラスに寄与しました。

◎ マイナス要因

- ・中国のPING AN HEALTHCARE AND TECHNやタイのAIRPORTS OF THAILAND PC-NVDRなどの個別銘柄選択がマイナスに影響しました。

◎ 今後の運用方針

- ・日本を除くアジア諸国・地域の企業の株式等を主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざし、ベンチマークである「日経アジア300インベスタブル指数（円換算ベース、ネット・トータルリターン）」を中長期的に上回る投資成果の獲得をめざして運用を行います。
- ・アジア諸国・地域を取り巻く外部環境を見ると、日米欧などにおいては新型コロナウイルスの感染拡大による影響が懸念されるなか、米国政府や米連邦準備制度理事会（FRB）は積極的に景気下支え策を講じる一方、中国政府も経済への下押し圧力を和らげるため積極的に景気対策を打ち出しており、不透明感に残るものの景気

は緩やかな回復が継続すると見込んでいます。また、オンライン診療やデータセンターなどの需要が堅調な伸びを示しており、イノベーション分野での成長機会の増加が期待されています。これらを背景に、企業業績は成長トレンドを維持すると考えており、世界各地での新型コロナウイルス感染拡大による需要の落ち込みなどが波乱要因として残るものの、アジア株式市況は中長期的に堅調に推移するものと考えています。

- ・株式組入比率については、高位な水準を維持する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2020年6月16日～2020年12月14日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 7 (7)	% 0.065 (0.065)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	4 (4)	0.033 (0.033)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	22 (20) (2)	0.200 (0.183) (0.017)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	33	0.298	
期中の平均基準価額は、10,749円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年6月16日～2020年12月14日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 11	千アメリカドル 130	百株 39	千アメリカドル 141
	香港	25 (50)	千香港ドル 435 (-)	622	千香港ドル 1,690
	シンガポール	-	千シンガポールドル -	8	千シンガポールドル 19
	タイ	-	千タイバーツ -	78	千タイバーツ 468
	フィリピン	-	千フィリピンペソ -	180	千フィリピンペソ 674
	インドネシア	-	千インドネシアルピア -	1,000	千インドネシアルピア 365,917
	韓国	-	千韓国ウォン -	3	千韓国ウォン 38,150
	台湾	- (48)	千ニュー台湾ドル - (-)	80	千ニュー台湾ドル 5,324
	中国オフショア	100	千オフショア元 608	1	千オフショア元 170

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2020年6月16日～2020年12月14日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	99,982千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	339,436千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.29

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2020年6月16日～2020年12月14日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 73	百万円 —	% —	百万円 118	百万円 31	% 26.3

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2020年12月14日現在)

外国株式

銘柄	株数	金額	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
			株 数	株 数	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円			
ICICI BANK LTD-SPON ADR	41	28	39	4,107	銀行		
INFOSYS LTD-SP ADR	16	16	25	2,620	ソフトウェア・サービス		
BAIDU INC - SPON ADR	1	1	24	2,516	メディア・娯楽		
NEW ORIENTAL EDUCATIO-SP ADR	10	8	133	13,917	消費者サービス		
HDFC BANK LTD-ADR	14	17	116	12,154	銀行		
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	8	9	251	26,146	小売		
GDS HOLDINGS LTD - ADR	8	13	124	12,983	ソフトウェア・サービス		
RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A	24	24	131	13,658	エネルギー		
LARSEN & TOUBRO-GDR REG S	51	28	44	4,672	資本財		
小 計	株 数	金 額	174	146	891	92,777	
	銘柄 数	< 比 率 >	9	9	—	<25.5%>	
(香港)			千香港ドル				
SUN HUNG KAI PROPERTIES	10	10	105	1,413	不動産		
HONG KONG & CHINA GAS	96	100	118	1,585	公益事業		
HONG KONG & CHINA GAS-NEW	4	—	—	—	公益事業		
HONG KONG EXCHANGES & CLEAR	11	7	275	3,703	各種金融		
CNOOC LTD	310	310	215	2,891	エネルギー		
ANHUI CONCH CEMENT CO LTD-H	75	25	120	1,620	素材		
LENOVO GROUP LTD	340	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器		
CHINA MENGNIU DAIRY CO	80	40	166	2,233	食品・飲料・タバコ		
PING AN INSURANCE GROUP CO-H	115	115	1,066	14,306	保険		
TENCENT HOLDINGS LTD	44	36	2,116	28,407	メディア・娯楽		
SHENZHOU INTERNATIONAL GROUP	51	51	707	9,499	耐久消費財・アパレル		
ANTA SPORTS PRODUCTS LTD	50	30	328	4,412	耐久消費財・アパレル		
COUNTRY GARDEN HOLDINGS CO	230	130	131	1,758	不動産		
CHINA RESOURCES GAS GROUP LT	60	20	78	1,049	公益事業		
AIA GROUP LTD	152	132	1,178	15,810	保険		
WUXI BIOLOGICS CAYMAN INC	—	75	611	8,202	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス		
PING AN HEALTHCARE AND TECHN	33	33	292	3,923	ヘルスケア機器・サービス		
COUNTRY GARDEN SERVICES HOLD	30	30	141	1,900	商業・専門サービス		
小 計	株 数	金 額	1,691	1,144	7,654	102,718	
	銘柄 数	< 比 率 >	17	16	—	<28.2%>	
(シンガポール)			千シンガポールドル				
DBS GROUP HOLDINGS LTD	24	16	40	3,123	銀行		
小 計	株 数	金 額	24	16	40	3,123	
	銘柄 数	< 比 率 >	1	1	—	<0.9%>	
(タイ)			千タイバート				
AIRPORTS OF THAILAND PC-NVDR	368	290	1,972	6,823	運輸		
小 計	株 数	金 額	368	290	1,972	6,823	
	銘柄 数	< 比 率 >	1	1	—	<1.9%>	
(フィリピン)			千フィリピンペソ				
SM PRIME HOLDINGS INC	367	187	733	1,583	不動産		
INTL CONTAINER TERM SVCS INC	239	239	2,959	6,391	運輸		
小 計	株 数	金 額	606	426	3,692	7,974	
	銘柄 数	< 比 率 >	2	2	—	<2.2%>	

銘柄	株数	当期		業種等	
		株数	評価額		
			外貨建金額		邦貨換算金額
(インドネシア)	百株	百株	千インドネシアルピア	千円	
BANK CENTRAL ASIA TBK PT	318	318	1,070,865	7,924	
BANK RAKYAT INDONESIA PERSER	1,000	—	—	—	
銀行					
銀行					
小計	株数・金額	1,318	318	1,070,865	7,924
	銘柄数<比率>	2	1	—	<2.2%>
(韓国)			千韓国ウォン		
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	45	43	315,620	30,141	
NCSOFT CORP	0.3	0.3	26,640	2,544	
テクノロジー・ハードウェアおよび機器					
LG CHEM LTD	0.86	0.86	69,488	6,636	
メディア・娯楽					
LG HOUSEHOLD & HEALTH CARE	0.4	0.4	62,840	6,001	
素材					
KAKAO CORP	2	2	74,900	7,152	
家庭用品・パーソナル用品					
SK HYNIX INC	5	5	57,750	5,515	
メディア・娯楽					
半導体・半導体製造装置					
小計	株数・金額	54	51	607,238	57,991
	銘柄数<比率>	6	6	—	<15.9%>
(台湾)			千ニュー台湾ドル		
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	230	170	8,772	32,368	
半導体・半導体製造装置					
E. SUN FINANCIAL HOLDING CO	586	633	1,590	5,868	
銀行					
HIWIN TECHNOLOGIES CORP	61	63	2,165	7,989	
資本財					
AIRTAC INTERNATIONAL GROUP	30	20	1,782	6,575	
資本財					
SILERGY CORP	10	—	—	—	
半導体・半導体製造装置					
小計	株数・金額	918	886	14,309	52,802
	銘柄数<比率>	5	4	—	<14.5%>
(中国オフショア)			千オフショア元		
KWEICHOW MOUTAI CO LTD-A	4	3	546	8,697	
食品・飲料・タバコ					
HANGZHOU HIKVISION DIGITAL-A	33	63	282	4,499	
テクノロジー・ハードウェアおよび機器					
SHANGHAI INTERNATIONAL AIR-A	—	33	248	3,958	
運輸					
ATER EYE HOSPITAL GROUP CO-A	—	30	201	3,215	
ヘルスケア機器・サービス					
CONTEMPORARY AMPEREX TECHN-A	—	7	186	2,972	
資本財					
小計	株数・金額	37	136	1,465	23,343
	銘柄数<比率>	2	5	—	<6.4%>
合計	株数・金額	5,193	3,416	—	355,479
	銘柄数<比率>	45	45	—	<97.5%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2020年12月14日現在)

項目	期末	
	評価額	比率
株式	千円	%
	355,479	91.6
コール・ローン等、その他	32,790	8.4
投資信託財産総額	388,269	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(362,682千円)の投資信託財産総額(388,269千円)に対する比率は93.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=104.04円	1 香港ドル=13.42円	1 シンガポールドル=77.91円	1 タイバーツ=3.46円
1 フィリピンペソ=2.16円	100 インドネシアルピア=0.74円	100 韓国ウォン=9.55円	1 ニュー台湾ドル=3.69円
1 オフショア元=15.93円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年12月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	388,269,015
コール・ローン等	32,720,745
株式(評価額)	355,479,006
未収配当金	69,264
(B) 負債	23,784,108
未払解約金	23,784,088
未払利息	20
(C) 純資産総額(A-B)	364,484,907
元本	301,186,930
次期繰越損益金	63,297,977
(D) 受益権総口数	301,186,930口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,102円

<注記事項>

- ①期首元本額 342,909,905円
 期中追加設定元本額 1,932,340円
 期中一部解約元本額 43,655,315円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.2102円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)
 日経アジア300インベスタブル・アクティブ・ファンド 301,186,930円

○損益の状況 (2020年6月16日～2020年12月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,709,397
受取配当金	1,709,920
受取利息	13
支払利息	△ 536
(B) 有価証券売買損益	93,177,526
売買益	101,812,542
売買損	△ 8,635,016
(C) 保管費用等	△ 711,350
(D) 当期損益金(A+B+C)	94,175,573
(E) 前期繰越損益金	△ 25,462,959
(F) 追加信託差損益金	272,115
(G) 解約差損益金	△ 5,686,752
(H) 計(D+E+F+G)	63,297,977
次期繰越損益金(H)	63,297,977

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。